



わが家は大丈夫？

大規模地震に備える

住宅の耐震化に財政支援を実施

30年以内の確率99%

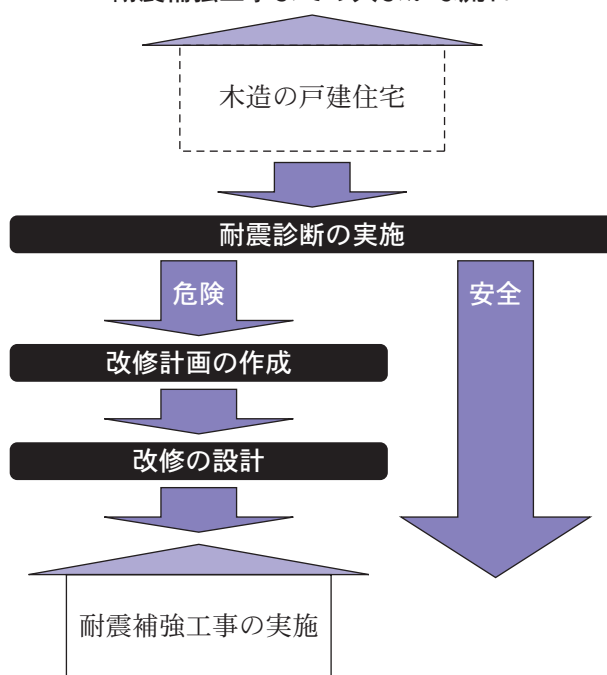
「マグニチュード7.5程度の宮城県沖地震が、今後30年以内に発生する確率は99%」。こんな不安な予測が国から発表されています。

「災害は、忘れたころにやってくる」といわれますが、大切なわが家を地震から守るためにも、今からさまざまな対策をおきましょう。

ほぼ37年に1回発生

宮城県沖地震が発生したのは、今から27年前の昭和53年6月12日でした。地震の規模はマグニチュード7.4、死者は10,989人、一部

耐震補強工事までの大まかな流れ



まずは建物の診断を

破損を含む住宅被害は13万軒を超えるものでした。この年からさかのぼること約200年の間に、宮城県沖地震と同じタイプとされる地震が6回起きており、その発生間隔（平均37年）などから確率を算出し、こうした予測が出されたようです。

【参考】

平成15年7月26日に発生した宮城県北部連続地震の規模はマグニチュード6.4、記憶に新しいスマトラ沖地震は9.0、新潟県中越地震は7.8、福岡県西方沖地震は7.0でした。

人が年とともに弱くなっていくのと同じように、建物も弱っていきます。まずは耐震診断をし、建物の状態を専門家の目で確認してもらう必要があります。

市では、こうした「耐震診断」のほか、その診断結果に応じて実施する「耐震補強工事」、さらには倒壊などの危険がある「ブロック塀などの撤去工事」とそれに伴う「生垣などの設置工事」に対して一定の補助をしますので、ぜひご利用ください。

市が支援する耐震改修事業


区分	耐震診断	耐震補強工事	ブロック塀などの撤去	生垣などの設置
事業の内容	専門家による木造住宅の耐震度合いの診断に対し、費用の一部を補助する	壁や基礎の補強、腐食部分の改良などを行うことによって、地震に対する安全性を高める工事に対し、費用の一部を補助する	倒壊の恐れがある危険なブロック塀などを取り壊す場合、その費用の一部を補助する	危険なブロック塀などの撤去に伴う新たな塀の設置工事に対し、その費用の一部を補助する
補助対象	①昭和56年5月31日以前に着工した住宅 ②戸建ての木造住宅 ③過去に「耐震精密診断」を受けていないこと	①耐震精密診断、もしくは今後受ける耐震診断の総合評点が1.0未満の住宅で、改修工事完了後の総合評点が1.0以上となる工事 ②耐震精密診断、もしくは今後受ける耐震診断の総合評点が0.7未満の住宅で、「みやぎ版住宅」に建て替える工事	①スクールゾーン内の通学路などの路面からの高さが1m以上（擁壁上の場合は60cm以上） ②実態調査の総合判定が「A」以外のもの ③一部撤去の場合は、道路からの高さを50cm以下に改修する場合	①危険ブロック塀などの撤去跡地への軽量の塀の設置工事 ②高さ1m以上の苗木を50cm以下の間隔で設置 ③高さ60cm以上のフェンスや板塀の設置
経費	200㎡以下の場合 168,000円			
補助額	160,000円	補助率=1/3 上限=300,000円	補助額=4,000円/㎡ 上限=150,000円	補助率=1/3 上限=100,000円
個人負担	8,000円(注)			
受付期間	平成17年7月1日(金)～10月31日(月)			
申し込み方法	登米市建設部建築課(中田町上沼字西桜場18番地)もしくは市内各総合支所の産業建設課に準備している申込用紙によりお申し込みください。			
問い合わせ先	登米市建設部建築課 ☎0220(34)2316			

注：既存建築物の図面がない場合、21,000円が加算されます。

耐震診断・改修無料相談会の日程

会場	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
藤崎一番町館6階 (仙台市) ☎022(261)5111	8日(金) 22日(金)	12日(金) 26日(金)	9日(金) 23日(金)	14日(金) 28日(金)	11日(金) 25日(金)	9日(金) 23日(金)	13日(金) 27日(金)	10日(金) 24日(金)	10日(金) 24日(金)
	相談時間：午後1時から6時まで								
大崎建設産業会館 会議室(古川市) ☎0229(22)0718	14日(木)	11日(木)	8日(木)	13日(木)	10日(木)	8日(木)	12日(木)	9日(木)	
	相談時間：午後1時から5時まで								
石巻土木事務所大 会議室(石巻市) ☎0225(94)8691	13日(水)	10日(水)	14日(水)	12日(水)	9日(水)	14日(水)	11日(水)	8日(水)	
	相談時間：午後1時から5時まで								

注：上記のほかに(社)宮城県建築設計事務所協会に常時相談所を開設しています。相談日時は、月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)の午前9時から午後5時まで。【連絡先】宮城県建築設計事務所協会 ☎022(223)7330



危険ブロック塀 自分でできる簡単チェック

先の宮城県沖地震もそうでしたが、記憶に新しい宮城県北部連続地震でも、数多くのブロック塀が倒壊しました。そこで、ブロック塀の安全性について、簡単なチェックをしてみましょう。

危険なブロック塀

- 鉄筋が入っていない
- コンクリートの基礎がない
- 控え壁がない。または少ない
- ひび割れ、破損がある
- ぐらつきがある
- 老朽化が進んでいる
- 高さが2・3階以上である

※該当項目が多いほど危険性が高くなります。

安心なブロック塀にするには

- 上部をアルミフェンスにするなど、軽量化する
- 道路境界から離して設置する
- 壁面に凹凸をつけるなど、安全性のある形状にする